

2013年度 東海支部 YFE 子どもいもの教室 終了報告

YFE 恒例の子どもいもの教室を、9月8日（日）に、岐阜市科学館で開催した。今年度より、一般の方の鋳物への関心をさらに高めていただくために、公設の科学館を利用して開催することとした。参加者募集にあたっては岐阜市科学館様のご協力もいただき、市内小学生へのチラシ配布、フリーペーパーや市広報を利用した告知などを行ったところ、募集開始と同時に予定人数を大幅に上回る申し込みがあり、急遽参加人員を増やしたが、それでも数十名の方をお断りせざるを得なかった。最終的に、89名のお子様とその保護者の方にご参加いただいた。参加者の方の中には、過去に参加したいもの教室が非常に楽しかったので、今回また参加したという方もお見えになった。



当日は東海支部 YFE ではおなじみのモリゾー・キッコロのペーパーウェイトや YFE マスコットキャラクターのプレートに加えて、今年の B-1GP 開催地である愛知県豊川市の宣伝部長「いなりん」の模型も持ち込み、3種類の模型のうち1種類を選んで造型していただくこととした。



子どもたちが砂を詰めた鋳型は、スタッフが抜型・型合わせ・注湯を行った。溶けた金属が鋳型に流れ込む様を見るのはどの子も初めてであり、興味深げに見つめていた。解砕した鋳型から鋳物が出てきたときは、どの子もうれしそうなお顔をしており、中には鋳型をバックに記念写真を撮っている子どもも見られた。



参加者の方は皆、初めての経験に非常に喜んでいただけた様子で、満足した様子で会場を後にされた。感想を伺ったところ、皆様から大好評であるとの評価をいただいた。

東海支部 YFE 初めての試みとしての公設科学館でのいもの教室開催であったが、一般の方の関心は非常に高く、多くの方に参加していただけた。今後も、一般の方々にもものづくりの楽しさ、鋳物のすばらしさを体験していただける行事を開催して、鋳造への関心を高めていただく取り組みをしていきたい。

最後になりましたが、今回の子供いもの教室にご参加いただいた皆様、運営にあたりまして多大なご協力をいただきました岐阜市科学館様、また、当日お手伝いをしていただきました三重大大学の学生の皆様に厚くお礼申し上げます。

(新東工業株式会社 大羽 崇文)